

現状からみる魚津市(特性の整理)

	社会潮流		人口・協働	産業・経済	健康福祉	都市整備	教育文化	環境・防災(防犯)	その他
機会・チャンス、好状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>●脱炭素社会の推進(次世代のエネルギーの導入、環境保全、生物多様性の重要性の高まり)</li> <li>●情報通信技術の進展(デジタル化の進展)</li> <li>●人生 100 年時代、誰もが活躍できる社会の実現(健康寿命の延伸、生涯活躍の基盤づくり)</li> <li>●持続可能なまちづくり(行財政改革の必要性)</li> </ul>	特長・良い傾向・兆候、強みとなるもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>●転入者の増加の兆し</li> <li>●外国人登録人口の増加傾向</li> <li>●女性の労働力率の高さ</li> <li>●地域コミュニティ活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●県下屈指の好漁場(県内3位の漁獲量)</li> <li>●観光入込客数のコロナウイルス後の増加への兆し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●幼児教育・保育の無償化の実施</li> <li>●要介護認定者数の推移が R4年以降横ばい傾向</li> <li>●市内および新川医療圏での医療体制(病院数は県内 15 市町村中5番目に高く、医師数は県内 15 市町村中6番目)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●あいの風とやま鉄道魚津駅と富山地方鉄道4駅のあわせて鉄道駅5駅がある</li> <li>●3港(魚津港北・南地区、経田漁港)の活性化に向けた整備</li> <li>●魚津港の貨物は、移出(砂利・砂・石材)が増加傾向</li> <li>●都市機能集約型の中心市街地形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内に県立高校、工業高校など4つの高校がある</li> <li>●埋没林博物館と歴史民俗博物館の入館者数が、コロナ後、増加傾向</li> <li>●新川文化ホールの利用件数がコロナ後、増加傾向</li> </ul> <p>※教育環境では ICT 機器の活用率が高い</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●山、海、河川など豊かな自然環境</li> <li>●令和2年「ゼロカーボンシティ宣言」・令和6年「デコ活宣言」</li> <li>●公害苦情件数や交通人身事故件数が減少傾向</li> <li>●各地域での自主防災組織の取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●北西には富山湾が広がり、「蟹気楼・埋没林・ほたるいか」の三大奇観を持つ</li> </ul>
脅威・脅威となる外部要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人口減少・少子高齢化社会の本格的な到来(地方からの人口流出)</li> <li>●ライフスタイルや価値観の多様化(高齢者単身世帯増加、地域社会のつながりが希薄化)</li> <li>●地球規模での環境問題の深刻化</li> <li>●経済情勢の悪化(円安基調に伴う物価上昇等)</li> </ul>	伸びしろ・対応の検討が必要なところ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢化率は県内 15 市町村中7番目の高さ</li> <li>●死亡数が出生数を上回る自然減の傾向が年々強まっている</li> <li>●男性の未婚率が県内 15 市町村中最も高い</li> <li>●地域のグループ活動等の割合(仕事、町内会・自治会等の活動以外では、半数以上が不参加)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●農家数、漁業経営体数の減少</li> <li>●商工業の事業所数が減少傾向</li> <li>●宿泊者数のコロナウイルス後の伸びの鈍化</li> <li>●有害鳥獣による農作物被害が営農意欲の減退を招く要因の一つになっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●就学前人口の減少(保育園、幼稚園の閉園など)</li> <li>●75 歳以上の後期高齢者が増加傾向(※ただし、人口推計では 2025 年度をピークに減少の見込)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●あいの風とやま鉄道鉄道線の市内乗客数、魚津市民バスの乗客数が増加傾向</li> <li>●富山地方鉄道鉄道線の市内乗客数が減少傾向</li> <li>●持ち家割合の低下(民営借家割合の高まり)</li> </ul> <p>※都市機能誘導区域内の新規創業者件数の伸びの鈍化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童生徒数は、小学校、中学校ともに減少</li> </ul> <p>※不登校児童・生徒の割合が、小学校、中学校ともに増加傾向</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リサイクル率の低下</li> <li>●刑法犯認知件数が増加傾向</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●定住対策、交流人口の更なる増加策が必要(人口動態における社会減の傾向が続いている)</li> <li>●老人クラブの数が減少</li> </ul>

●印は現状資料「魚津市の現況」より、※印は成果指標の進捗報告書より